

38)

著者：松村智行・小森弘詞・松永勝也

論文題目：一時停止場所における一時停止線からの道路の交差部手前までの移動時間

論文集名：日本交通心理士会第10回中国四国九州地区研究発表会発表論文集

発表年月：2017（平成29）年7月

頁：4-5

# 一時停止場所における一時停止線から道路の交差部手前端までの移動時間

○松村智行\*・小森弘詞\*・松永勝也\*\*

(\*アイルモータースクール豊前 \*\*九州大学[名誉教授])

## はじめに

H28年の事故統計によると、事故類型別発生状況では交差点での出会い頭事故(120,679件)が追突事故(184,567)に次いで二番目に多く、自転車乗車中の事故では最も多い事故となっている(全事故:90,836件中、出会い頭の衝突事故:47,008件)[1]。その原因として指定場所一時不停止が考えられる。道路で一般車両を観察していると、見通しの悪い交差点や一時停止の標識、赤の点滅信号が存在しているにも関わらず停止することなく、かなりの速度で交差点に進入している車両が多く見られる。また、小森らの先行研究[2]によると多くのドライバーが一時停止場所で完全に止まっていないという調査結果が示されている。しかし、普段の業務中に既得免許者に「一時停止場所では止まって安全確認できていますか?」と質問すると「確実に止まって安全確認している」と答えることが多い。これは多くのドライバーが止まったつもりになっている、若しくは完全に停止しなくても十分安全な走行が出来ていると考えていることを示しているのではないかと考えられる。そこで今回は、一般道路を走行する車両の、一時停止場所における一時停止線から道路の交差部手前端までの移動時間を調査し、出会い頭事故を防止する通行方法を模索することにした。

## 方法

### 1. 調査方法

一時停止の標識がある場所において、一般車両が一時停止線から道路の交差部手前端までの移動にどのくらい時間をかけているかを計測した。計測は車両の先端が停止線の直前に到達してから始め、車道の直前に車両の先端が到達するまでとした。他の車両や歩行者を待つために停止した車両は除いた。計測場所では停止線から車道の直前まで約7メートルあり、左右には歩道がある他、

ビルや駐車車両、街路樹などの遮蔽物が存在し、見通しが良いとはいえない場所である。

実験場所付近にビデオカメラを設置し、計測は後日映像上で行った。尚、ビデオカメラは一般車両からは見えない場所に設置してある。

### 2. 調査場所

調査は福岡県北九州市八幡東区西本町付近の最高時速40kmの優先道路と交差する一時停止の標識と停止線のある交差点で行った(図1)。



図1. 調査交差点の状況

### 3. 調査期間

調査は、2017年6月9日午後5時30分から午後7時までの間、及び、2017年6月10日(土)午前5時30分から午後2時までの間に行った。

## 結果と考察

合計90台の通過時間を計測した。通過に費やした時間の最大値は9秒、最小値は2秒であった(表1)。尚、90台の平均通過時間は4.08秒であり、停止線付近で確実に停止して安全確認をした車両は6台であった。

表1. 停止線から交差道路の端までの移動時間ごとの車両台数

時間 (秒)	台数
2	17
3	17
4	31
5	8
6	7
7	4
8	5
9	1

今回の結果から、先行研究[1]でも示されたとおり、一時停止の標識で確実に停止させているドライバーは非常に少ないということが再認識された。また、通過に要した時間は約2秒台(17台)から9秒台(1台)にわたり、4秒程度の車両が最も多かった(31台)。仮に4秒の確認時間とすると、左、右、前方の安全確認に使える時間は4/3秒程度であり、この時間で接近車両や歩行者を間違いなく認識するのは、困難と考えられる。

また、7mの距離を2秒で移動する場合は秒速3.5m、4秒では秒速1.75mとなり、この速度でもし自転車に乗った人が直前に飛び出してきた場合には、衝突せずに停止することは困難であろう。

### まとめと今後の課題

現状では指定場所一時不停止の車両の多さは甚だしい。ほとんどの車両は走行しながら左右の安全確認を行っていた。ただし、7mの距離を4.08秒で移動した場合、接近物体を確実に認知できるかに関しては、明らかではない。このようなことから、左右の安全確認が正確にできる条件を実験的に明らかにすることを今後の課題にしたいと考えている。

### 文 献

- [1]警察庁:平成28年における交通事故の発生状況. 警察庁HP
- [2]小森弘詞・江上嘉実・杉元俊彦・松永勝也・高橋謙二・西江博樹・水野博:一時停止の遵守状況に関する調査研究. 日本交通心理学会第54回大会発表論文集, 1996年